

令和6年度第1回東浦町総合教育会議 会議録

開催日 令和6年7月23日(火)  
場所 東浦町役場 3階 合同委員会室

出席構成員の氏名

町長	日高輝夫	教育長	庄子亨
職務代理者	水野善久	委員	浅田謙司
委員	中村希代美	委員	草野由美子

出席職員の氏名

企画政策部長	教育部長	企画政策部兼総務部次長	企画政策課長
秘書人事課長	学校教育課長	生涯学習課長	スポーツ課長
学校教育課主幹兼指導主事	学校教育統括課長補佐兼指導主事	企画政策課施設マネジメント係長	秘書人事課人事係長
学校教育課庶務係長	企画政策課主事	学校教育課主事	

傍聴者0名

会議

開会 午前9時

(教育部長) ただいまから、令和6年度第1回東浦町総合教育会議を始めます。

あいさつ

(町長) みなさま、おはようございます。

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、町長部局と教育委員会部局が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とし、開催される会議です。

現在、町が取り組んでいる事例の一つとして、公共施設の再編があります。

本町の公共施設の多くは、高度経済成長期に建設されており、今後一斉に更新時期を迎える一方、人口減少、少子高齢化などによる財源の減少により、今ある施設を今の姿のまま維持・更新し続けることは、非常に困難です。将来の子どもたちに負担を先送りすることなく、将来にわたって持続可能な公共施設のあり方

を目指しており、昨年度末には、「東浦町公共施設再配置計画」を策定しました。公共施設の再編を進めるにあたっては、共に考えていく必要がありますので、引き続きご協力をお願いします。

そこで、今回の会議においても、この公共施設再配置計画とスケジュールについて、を議題とさせていただきます。計画の中で、モデル事業としている森岡地区拠点施設及び東浦中学校・東浦文化広場の複合を推進していきたいと考えております。

また、多様化する行政課題やニーズに迅速かつ柔軟に対応し、より効率的な組織とするため機構改革を行う予定としております。機構改革によって、町長部局と教育委員会事務局がより一層密に連携し、子どもたちの教育・生活、子育て支援を充実させていきたいと考えております。非公開という形ではありますが、機構改革案についても議題とさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

( 教 育 長 ) おはようございます。今日も厳しい暑さの中、会議に参加いただきありがとうございます。町長から説明いただいた内容と重複する部分もありますが、次第4の公共施設再配置計画、5の機構改革について話させていただきます。これらは最低でも10年先、施設については30、40年先を見通して、現段階で最善と考えられる方向性を決定していくのが私たちの責任であると考えています。私自身、30、40年先にはおそろくないでしょうが、それを理由に不適切な案を提出するわけにはいきません。

“来年の事を言えば鬼が笑う”ということわざがありますが、現段階で先見の明をもって、特に教育面の内容を予見し、それにあった建物を設計することが必要だと考えています。同時に、機構改革についても、最低でも10年先を見通して、改革によりどのような利点が見られるのかを明確に示さなければ、住民の理解を得られません。

このような観点から、本日の総合教育委員会で議題について議論することが有意義となると思います。今年生まれた子供たちの10年後、それどころか50年、60年後のことを視野に入れ、責任のある会であるとの認識を持って参加したいと思っております。本日もよろしくお願いいたします。

公共施設再配置計画の策定及び今後のスケジュールについて

( 町 長 ) 公共施設再配置計画の策定及び今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

(企画政策課長) 「公共施設再配置計画の策定及び今後のスケジュールについて」を説明。

- ( 町 長 )           ご意見やご質問等はございますか。
- ( 浅田委員 )       令和5年度12月に行った学校経営会議での報告でどのような意見が出たか教えてください。
- ( 事務局 )        学校経営会議においては、全小中学校のうち3つの小中学校の校長からご意見をいただきました。その中でも東浦中学校に関するご意見が多く寄せられました。公共施設の再配置計画という大きなテーマについてご意見をいただく一方で、具体的な内容が明確でない、体育館を含めて建て直すべきだといった細部に関する要望や意見も寄せられました。
- 片葩小学校区に関しては、現状では自転車通学を行っていないため、新たに自転車通学を導入することへの不安を示す声もありました。
- 「東浦町公共施設再配置計画 概要版」の1ページに記載されている「面積削減目標」では、「既存施設の総延床面積よりも『30%以上』の面積削減を図ります。」と説明しております。これは、機能の共有化によりスペースを効率的に活用し、結果的に面積削減が可能となるとの考えからです。しかし、一部の先生方からは、面積削減が単純なスペース削減をもたらすと誤解され、施設が狭くなり利便性が低下するとの懸念を示すご意見をいただきました。
- ( 浅田委員 )        施設を複合化・集約化等することで無駄を省くという面積削減目標については詳しく説明されて先生方も納得されたと思います。どのように説明したか教えてください。
- ( 事務局 )        概要版の2ページをご覧ください。まず、①複合化・集約化の効果として狙っている主な効果が3つ明記されています。1つ目は「機能の異なる施設間の相乗効果の創出、コミュニティ拠点の形成」で、多様な機能を持つ一つの場所として、多くの人々が集まり、利用できるコミュニティ拠点を作成することを意図しています。2つ目は「合理性・効率性の最大化」であり、先ほど述べたものと近いところがあると思いますが、諸室の相互利用といったスペースの共有、有効活用を目指しております。3つ目は「コスト縮減」で、面積が減るところでコストの縮減を図りたいと考えております。
- 学校につきましては、6ページで学校を中心とした施設の再配置について記載しております。具体的には、小学校、保育園、児童館、老人憩の家、コミュニティセンター、ふれあいセンター、防災関係施設の複合化を計画しております。これらの施設は共有できる部分があると考えており、具体例として、音楽室と老人憩

の家のカラオケといったところを共有し、それぞれが保有していた機能を一箇所に集約し、施設面積を削減することを目指します。

( 事務局 )

校長先生方には説明させていただきましたが、計画段階で校長先生方に相談等は一切しておりません。執行部内での考え方というところで再配置計画をまとめさせていただいております。昨年、この計画案を見せて、特に東浦中学校に関しましては「夢がない」と言われた先生方がいらっしゃいました。これは、予定されている30%の削減に関連するものです。

本資料に書いてありますが、公共施設の再配置には多大な費用がかかります。一方で、人口は減少傾向にあり、この状況を踏まえて再配置計画を作成しています。しかし、先生方からは、転入させて人口を増やす政策を立てるべきという意見や、もっと利益を生む企業を呼び込むべきだ、というご意見をいただいております。これらを実行しない訳ではありませんが、人口は全国的に減少していて、人口を増やすための政策というのは単に人口の取り合いになりかねません。そのため、今後は子どもを育てる・産む、主に産むというところに力を入れていく必要があると思います。そういった意見をいただいて、やっぱり夢がないということをはっきり言われた先生方もいます。

ただ、私たちは、今説明いたしました通り、学校の中で地域の使える部分というのを、しっかり示していきながら、有効に使っていきたいと考えております。これは、普通教室は基本的に学校の専用スペース、ただ、特別教室や体育館というのは一般開放ができる部分というところですか。また、学校の普通教室というのは、こういった形であるべきか、というのは教育委員会の中でもっと議論していただきたく、オープンスクールのようなものが全校必要だということなら、そういった考え方の作り方をさせていただければいいと思います。そのため、どんな形になっても受け入れ、数年先の変化を見越しながら、どのような運用が可能なのか、また現代の教育において何が最善かを考え、それに基づいて普通教室の役割を考えていきたいと思っております。

( 事務局 )

私は”夢”はこれから育てていけるものだと考えております。規模縮小に夢がないというよりは、規模縮小後の再配置がどうなるか、それこそが新たな夢の始まりだと思います。

教育長もおっしゃっていましたが、再配置は30年、40年先を見据えて進めていくもので、子どもたちにもその視点を持って考えてほしいと思っております。情報提供になりますが、先日、教育

委員さんとの会合でも、校長先生に是非こういった場を設けてほしいという話をさせていただきました。早速、北部中学校のPTAが、公共施設に関して子どもたちと一緒に考えたいという話をしてくれました。本夏休み中に、子どもたちを集めて、公共施設再配置を説明する場を設けていただき、子どもたちに夢を考えてもらう、といった取り組みを行ってっております。そういった取り組みを進めていき、30年後、子どもたちが我々の世代になった時の施設の在り方という夢を語ってくれたらいいなと思っていますので、このような学校が増えてくれるといいかなと思っています。

( 浅田委員 ) 今の話は北部中学校だけの話でしょうか。

( 事務局 ) 北部中学校のみの話です。東浦中学校及び西部中学校にこのことを共有いたしました。北部中学校はPTAが中心になって、校長先生と協力して、すでに募集をかけていると聞いております。

( 浅田委員 ) 東浦中学校及び西部中学校も同様に計画していただけると嬉しいですね。

( 町長 ) 他にご意見やご質問等がございますか。

《意見なし》

東浦町機構改革案について（非公開）

( 町長 ) 以上で令和6年度第1回東浦町総合教育会議を終了いたします。

閉会 午前9時38分

会議録作成者 教育委員会事務局